

武漢のキャンプブーム

大分市武漢事務所 趙 南星

春の季節に郊外へ行きキャンプを楽しむ人が増えてきました。**キャンプ産業は現在中国国内で急成長している産業**です。中国最大の検索エンジンBaiduのデータによると、2021年に創業したキャンプ関連企業は2万社以上でこの5年間で最も多い業界となっています。2022年は更に1万5千社以上が創業しました。

都市別に見ると、**1位が西安市**で2,429社、**重慶市**と**成都市**が後に続いています。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、この3年間は国内旅行には多くの制限があり、室内での活動も感染の恐れがあるため、小規模なキャンプをすることが唯一の選択肢となっていました。

3~5人の友達と屋外でキャンプやバーベキューをして楽しむのが流行りのスタイルです。



アフターコロナとなった現在でも、キャンプはすでに多くの人にとってなくてはならないものになりました。庭や公園で行うミニキャンプから郊外の山奥で行うキャンプまでいろいろな楽しみ方があります。

キャンプの最大の魅力は、忙しい都会の生活から離れ、ひとときの安らぎを味わえることです。

そして、キャンプをするためにテントやキッチン設営、焚火、料理など、多くのことを自分自身でやらなければならない、生きるための能力が試されます。

また、みんなでキャンプをすることでさらに交流が深まります。

武漢市では

天興洲（てんしんしゅ）、
府河湿地公園（ふーほーしっち）、
錦里溝（じんりごう） 観光エリアが
キャンプ地として有名です。

天興洲は長江中心にある島で、長江水に沖積されて形成された表面土壌の一部が細かい砂のため、子どもの遊び場として適しています。そして、長江の景色や夕日の絶景が有名です。市内から遠くないため、週末に手軽なキャンプをしたい家庭に向いています。



【キャンプ場の様子】

※写真は武漢事務所スタッフ撮影

武漢のキャンプブーム

大分市武漢事務所 趙 南星

武漢市は川や湖が多く、市の面積の4分の1が水に覆われており、市内には**解放公園**、**府河湿地公園**など湿地生態を持つ公園が何か所かあります。湿地は、生物多様性や環境保全に重要な役割を果たし、多様な動植物の生息・生育の場となっています。

府河湿地公園は、武漢の黄浦区と東西湖区の間、府河周辺の流域に位置し、総面積は5,156ヘクタールあり、水資源が豊富で生態環境が優れています。毎年10月から3月にかけて、数十万羽の野生の白鳥や野鴨、雁などの渡り鳥がシベリアから飛来し、ここで休息します。春になると緑があふれる公園でキャンプをしたり、鳥を見たり、写真を撮ったりして、春を満喫できる場所として武漢市民に親しまれています。

【東湖カフェタウンの様子】



さらに、**キャンプカフェ**が人気を呼んでいます。**キャンプカフェ**とは、キャンプの気分を味わいながら楽しむことができるカフェのことです。

美しい東湖梨園風景区に位置する「**東湖カフェタウン**」は、それぞれ異なる雰囲気の内装されたお土産屋やカフェなどの異国情味が味わえる小屋が並んでいます。小屋と小屋の間にはテントが張られ、まるで海外でキャンプをしているような気分を味わうことができます。風光明媚な場所にあるため、毎日多くの観光客で賑わっています。ここでは写真撮影やバーベキューもでき、夜にはポップミュージックの演奏もあり、多くの若者が集まる武漢で、最も人気のある**キャンプカフェ**となっています。

※写真は武漢事務所スタッフ撮影

武漢のキャンプブーム

大分市武漢事務所 趙 南星

また、**武漢光バレー**

(*中国最大の国家光電子産業基地)の近くにある

「シリコンバレータウンA カフェ」

も比較的有名なキャンプカフェです。シリコンバレータウンは、光バレーエリアで働く若者のために建設された賃貸マンションで、**Aキャンプカフェ**はマンションの付属施設です。

若者たちはここでコーヒーやお酒を飲みながら、人生の抱負を語り合います。**Aキャンプカフェ**では、軽食やその他の飲み物も提供しています。

**【シリコンバレータウンAカフェキャンプ場の様子】**

キャンプの魅力は新鮮な空気の中に身を置き、その空気を感じることです。都会の日常から抜け出した解放感と、自然の中にいることで心身ともにリラックスできます。キャンプファイヤーを囲んで本音を語りあうことができ、本来の自分に戻ることができます。

※写真は武漢事務所スタッフ撮影